

平成22年度 第1回 鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 平成22年6月8日（火） 13:30～14:30

場 所 鳥取大学事務局棟3階 第1会議室

出席者 岡本委員、長谷川委員、古澤委員、吉岡委員、
能勢委員、林委員、本名委員、岩崎委員、小林委員、井藤委員、
豊島委員

欠席者 安藤委員、柴田委員、平井委員

[陪席者] 山根監事、萩原副学長、高阪副学長、岸田副学長、矢部地域学部長、
田中工学研究科長、中島農学部長

議事に先立ち学長から、今年度の経営協議会については、今回の議題である平成21年度決算について、例年より約3週間早く6月11日に文部科学省へ承認申請する必要があることなどから6月に2回開催としており、委員の皆様にはご迷惑をおかけすることとなるが、様々な意見を賜りたい旨挨拶があった。

続いて、平成21年度第6回経営協議会で承認を得た本学の運営組織の見直しについて説明があり、それに伴い、経営協議会における学長の職務代理（議長代理）について、昨年度までは、第1順位：地域連携担当理事、第2順位：財務担当理事としていたが、第1順位：経営担当理事、第2順位：教育担当理事としたい旨説明があり、承認された。

議 題

1. 平成21年度決算

萩原副学長から、資料1-1、1-2に基づき、平成21年度決算について、平成21年度には約28億円の当期純利益が発生したが、実際の現金の裏付けのある利益は前年度から約11百万円減の4億59百万円となった旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、学長から、地域学部校舎及びがんセンター等の改修により資産が増加した一方、国立大学法人財務・経営センター債務負担金の償還により負債が減少したこと、運営費交付金収益が減少する一方で附属病院収益等の増収に努め、診療経費等の充実を図ったこと等、財務の健全性について補足説明があった。

なお、決算については6月11日までに文部科学省へ申請する予定である旨説明があった。

2. 平成23年度概算要求

林理事から、資料2に基づき、平成23年度概算要求事項について、それぞれ組織、特別経費（プロジェクト分・基盤的設備等整備分）、施設整備事業を要求予定としているが、特別経費については文部科学省の感触として厳しい要求となる旨説明があり、審議の結果、最終的には学長に一任することで承認された。

また、組織では医学系研究科及び附属幼稚園の入学定員の変更を検討中であること、特別経費についてはプロジェクト分として5件、基盤的設備等整備分として5件の計10件を新規分として要求する予定であること、施設整備事業については、臨床研究棟改修等の事業を要求すること等補足説明があった。

なお、概算要求については6月17日までに文部科学省へ申請する予定である旨説明があった。

— 委員の主な意見等 —

- ◇ 長谷川委員より、入学定員の変更について、入学定員の減少が、教員の定員減、運営費交付金の減につながることも考慮し、先を見通した上で検討してほしい旨意見があり、学長から、入学定員の変更は、学生へより質の高い教育を提供するための見直しであり、定員のあり方については今後も引き続き検討していきたい旨説明があった。

報告

1. 決算剰余金（目的積立金）会計予算に係る決算報告

萩原副学長から、資料3に基づき、決算剰余金（目的積立金）会計予算に係る決算報告について、平成19年度決算までに生じた剰余金と平成20年度決算において生じた剰余金について、執行計画に基づき約15億円を取り崩し、各事業を執行した旨報告があった。

2. 法人化に伴う承継剰余金会計予算に係る決算報告

萩原副学長から、資料4に基づき、法人化以前から承継している訴訟に必要な予算である承継剰余金の決算報告について、2件の訴訟判決により経費が執行されたこと、その残額については中期目標期間最終年度による精算のための収益化により、臨時利益に計上したこと等報告があった。

3. とっとりバイオフロンティア

林理事から、資料5に基づき、昨年度の経営協議会において事業内容の報告を行っている「とっとりバイオフロンティア」について、鳥取県議会において、施設整備に係る工事費等として約5億7千万円が予算計上されている旨報告があった。

また、本事業は、本学が保有する染色体工学技術の研究成果等の実用化・事業化を促進しながら、県内へのバイオ産業集積を図ることを目的として、バイオ技術に係る研究開発や専門技術者の育成等を行う産学官連携拠点となること、建物については、オープンラボ、遺伝子実験室、企業への貸し実験室等を整備した3階建てとする予定であること、今回の議会で採択されれば、今夏にも建設を開始し、来年度の4月より運用を開始する予定である旨補足説明があった。

最後に学長から、今年度も引き続き委員の皆様から様々なご意見、ご指導、ご協力を賜りたい旨挨拶があった。

以上